

## CT Colonography の実際

済生会熊本病院 中央放射線部 坂本崇

CT 装置を用いた大腸検査 CT Colonography (以下 CTC) は、1994 年の Vining による報告をきっかけに研究がはじまり、1999 年に登場したマルチスライス CT(以下 MSCT)及び画像処理技術の進歩により大腸がんスクリーニング検査として CTC 実用化へ向けた研究が盛んに行われるようになった。

本邦においても、多列 MSCT の普及や大腸解析ソフトの性能向上、検査の低侵襲性、さらには 2012 年の保険点数加算(600 点)により、1 次・2 次スクリーニングとして CTC を実施する施設が年々増加してきている。

本講演では、CTC の基本的な検査の流れや CTC を実践するために重要な前処置、腸管拡張法、撮影条件および読影(画像処理)といった項目に関して解説する。